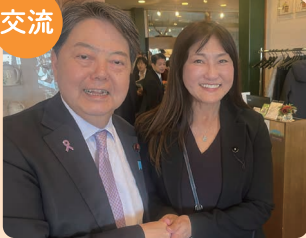




精力的に活動しています！活動の一部をご報告します

2025年8月～2025年12月

交流



林芳正総務大臣と情報交換

要望



危機管理建設委員長として国交省に要望

質問



県議会11月定例会で一般質問

視察



りんごと梨のジョイント栽培を視察(宮城県)

調査



千曲市消防団フェスタにて調査

交流



さらしなの里縄文まつりにて交流

交流



町民まつり「坂城どんどん」で交流

調査



2025 さかきモノづくり展にて調査

視察



姨捨棚田の保存を目的に米づくり

調査



地元ぶどう農園の現状を調査

調査



坂城町防災訓練にて調査を行い所感を述べる

調査



ハッ場ダム(群馬県)を現地調査

県民のウェルビーイング向上に向けた県の取組について

11月 定例会一般質問

(1) 健康・医療・福祉に関して身体的、精神的、社会的な健康を推進するために、県としてどのような目標や評価指標を設定しているか伺う。

(2) 健康長寿の要因である「地域の健康ボランティア・食と運動の習慣・地域包括支援ネットワーク」などの強みを、県全体でどう活かし、地域で支え合う「社会的ウェルビーイング」を推進していくのか伺う。

(以上、笹刈健康福祉部長)

(3) 「第4次長野県教育振興基本計画」の実施状況について、「探究的な学び」を地域と連携し、どのように推進しているのか伺う。

(4) 単に知識・技能を育むだけでなく、子どもが「自分らしく生き、社会に貢献したい」と感じられる教育をどう展開するの伺う。

(以上、武田教育長)

(5) 地域住民の幸福実感を高めるために、県として「地域コミュニティの再生・支え合い活動・多世代交流・移住と定住促進」などをどのように支援していくのか伺う。

(中村企画振興部長)

(6) 次期総合計画に、県民の幸福感・生活満足度・地域のつながりを可視化する「長野県版ウェルビーイング指標」を導入し、施策立案や成果評価に反映していくべきと考えるが、所見を伺う。(阿部知事)

県民の安全・安心を守る警察の人材確保等について

(1) 警察官の増員について今後の県警の方針について伺う。

(2) 近年の採用試験の状況、採用後5年以内の離職率、交番と駐在所の体制確保が困難になっている地域の有無を伺う。

(3) 人口減少等、人材確保が困難となる中、県警としての課題と方針について伺う。

(4) 産休・育休後に職場復帰する女性警察官を対象に、復職に向けた相談窓口や支援策はあるのか、休業中の研修・フォローアップについて伺う。また、復職後の勤務形態について、時短勤務や柔軟な配置転換など、キャリア継続が可能となる配慮はどう進めているのか伺う。

(5) やむを得ない事情で職を離れた方を対象とした再採用制度があり、再採用の対象となる一定の要件について、この内容を改める余地や今後の充実にについて伺う。(以上、阿部警察本部長)

ユニバーサルツーリズムについて

(1) 長野県では「信州ユニバーサルツーリズム」として推進しているが、現状の取組状況について伺う。

(2) 観光事業者のバリアフリー改修と情報発信への支援を、県としてどのように強化していくのか方針を伺う。

(3) 観光地へ移動するための公共交通のバリアフリー化をどのように進めていくのか、具体的方針を伺う。

(4) 障がいのある方や高齢者など、当事者の声を施策づくりに活かすための場を、どのように確保するのか考えを伺う。(以上、高橋観光スポーツ部長)

教員採用選考と資質向上について

(1) 南信ブロックの志願倍率が極端に低い理由をどのように分析して、課題認識を持っているか伺う。また同ブロックの教員の力量向上・資質確保をどのように図るのか伺う。

(2) 辞退の傾向は、採用計画の精度や志願者確保の戦略に直結する。本県における採用選考の辞退者は何名か。また、辞退の理由を把握しているか伺う。(以上武田教育長)

竹内議員の質問を要約したものを掲載しております。質問・答弁の全文は公式サイトでご覧ください。



長野県議会議員：竹内正美プロフィール

●長野商業高校卒業 ●千曲市土口出身/坂城町上平在住 ●キャリアコンサルタント(国家資格) ●産業カウンセラー ●信州おもてなしマイスター ●防災士 ●喇酒師
●自民党長野県連女性局長 ●自民党長野県千曲市・埴科郡第一支部長 ●令和7年度 危機管理建設委員会 委員長

JIMIN Nagano

2026
Winter

新年のごあいさつ

昨年は、米をはじめとする物価高騰、米国関税措置の影響、クマ被害の拡大等に加え、国政では高市新政権の誕生など大きな動きがあった一年でした。本年も我々は社会状況の変化を的確にとらえ、皆様の不安や痛みに寄り添い、願いをしっかりと受け止め、効果的な支援策の実現に向け粉骨砕身してまいります。

本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

長野県自由民主党県議団

令和7年度 11月補正予算

一般会計 **64億9358万6千円** (債務負担行為 101億936万5千円) 及び
国の総合経済対策に係る補正予算 **108億2045万1千円** を可決

- 11月定例会開会日に、県より「県民の命と暮らしを守るツキノワグマ対策」総合パッケージ1.0の实行、医療・介護等提供体制や教育環境の整備、原料米価格高騰への対応などに必要となる約65億円の補正予算案が提案されました。自民党県議団からは9名の議員が一般質問に立ち、クマ対策、警察の人材確保や交番・駐在所再編、長野県150周年記念事業、国土強靱化の推進、未成年者の自殺対策など、幅広く県政課題について知事等と活発な議論を展開しました。最終日には国の総合経済対策の一部を先行して予算化した108億円余の補正予算案が追加提案され、本会議での事業内容に係る質疑を経て、通常分とともに全会一致で可決しました。
- 《通常分》主要事業の例
 - ツキノワグマ対策の推進 3251万2千円
 - きめ細かな情報発信と市町村のゾーニング管理導入への支援
 - 医療介護等提供体制の整備 1億3169万2千円
 - 木曽地域における妊産婦の交通費支援の拡充等
 - 教育環境の整備 10億8128万9千円
 - 県立高校の特別教室等へのエアコン設置等 2億9052万2千円
 - 県産加工用米等の購入費用を補助
 - 県民生活の安全・安心の確保 (債務負担行為) 19億8000万円
 - 道路の舗装や区画線補修工事等の前倒しと災害復旧工事

- 《追加分》主要事業の例
 - 低所得のひとり親世帯への特別給付金等 4億6595万7千円
 - 食料品の価格高騰対策 2億1996万9千円
 - フードバンク団体による食料品などの配布拡大等 エネルギー価格高騰対策 30億5498万3千円
 - LPガス利用者に対する料金支援等 70億7954万2千円
 - 医療介護分野等の賃上げ物価上昇対応支援 70億7954万2千円
 - 事業所等における従事者の賃上げと物価上昇の影響に対する支援
- ◆ 国・県の令和8年度予算・施策に関する要望活動
 - ◆ 自民党本部にて鈴木俊一幹事長と面談し、東京一極集中の是正、安定的な地方財源の確保、若者支援政策の推進等について要望しました。地方の実情を理解いただき、総合経済対策として取りまとめる補正予算でも対応できれば検討したいとの回答がありました。
 - ◆ 阿部知事には、各種団体からお寄せいただいた要望内容も踏まえ、来年度当初予算編成に向けて187項目もの多岐にわたる要望・提案を行いました。知事からは、いずれもしっかりと受け止め、予算や施策に反映させていきたいとの回答がありました。



- ◆ 県議団の提案・要望が 続々と実現！
 - ◆ 6月補正での高騰する酒米購入費用に対する酒蔵への補助に関し、対象の酒米を県奨励品種に限定した理由について本会議で質し、全品種への拡大を求めた結果、11月補正では品種に制限なく、さらに味噌製造などの加工米にも対象が広げられ、予算額も3倍超に拡充されました。
 - ◆ 高校授業料無償化を巡り定時制・通信制の「単位制」では自己負担が生じている問題について、9月議会で県議団が発議した意見書を国に提出し、改善を求めた経過があります。委員会において今年度分の対応を県に要請したところ、独自の支援が実現しました。県議団として国に来年度以降の実施を要望するともに、引き続き自己負担が生じないよう一般質問で県に要請しました。
 - ◆ 県の来年度の予算・施策に対する要望の中で、福祉医療費給付事業について、県補助の対象を拡大して精神障がい者の入院医療費を加えるよう求めました。11月議会的一般質問で県の考えを質したところ、令和8年度から制度化できるよう取り組むとの知事答弁を引き出しました。引き続き課題解決力に磨きをかけて、頼りになる地域政策集団を目指します！
- ◆ 自民党県議団の発議による 国への意見書
 - こども誰でも通園制度の安定的な運用の実現を求める意見書
 - 広く国民の意思を反映した衆議院議員選挙制度の実現を求める意見書
 - 暫定税率の廃止に伴う安定的な代替財源の確保を求める意見書 (ほか全13件)

意見書の詳細は
こちらから
ご覧になれます